

## 千葉県防災支援ネットワーク検討会議（第3回）

### 1. 千葉県防災支援ネットワーク検討会議（第3回）の概要

日 時 平成25年11月25日（月）午後2時00分から午後4時00分

場 所 千葉県庁南庁舎9階第3会議室

出席者 千葉県防災支援ネットワーク検討会議構成員

千葉県防災危機管理部長

千葉県防災支援ネットワーク検討ワーキンググループメンバー

### 2. 議事概要

「防災支援ネットワーク基本計画（案）について」について、事務局から説明の後、各構成員から意見等をいただいた。

#### < 救援部隊関係 >

○広域防災拠点施設は、市町村の避難場所として使用されることがあるのか。

事務局：広域防災拠点には市町村の避難場所等に指定されているところもある。広域防災拠点は大きな被害が想定される地域から離れた場所に指定しているため、避難場所とは重複しないと考えている。

○この計画で広域防災拠点となる施設が指定されるが、その拠点には県の代表者がコーディネーター役として行くのか。

事務局：県災害対策本部または支部から派遣することを検討している。

○警察部隊の広域防災拠点を追加指定していただき大変ありがたい。計画策定後は図上訓練を実施する必要があるだろう。

○同一施設内における自衛隊、消防、警察等支援部隊間での施設・設備の相互融通について検討が必要だろう。

○救援部隊全体のコーディネートが大変重要となるだろう。

#### < 医療救護関係 >

○東日本大震災では、災害対策本部の中に医療の責任者が入っておらず、活動に不具合を生じた。千葉県では災害医療本部を設置することになったが、自衛隊、消防、警察の連携も重要となるだろう。

○統括 DMAT が県庁に入るのは当然だと思うが、この計画では健康福祉センターの合同救護本部と災害拠点病院のどちらを地域の災害医療の拠点としてイメージしているのか。

事務局：DMAT は災害拠点病院を中心に活動する。健康福祉センターの合

同救護本部は情報を集約し、災害医療本部に送るといった役割が中心となる。

- 大規模災害時には、共同指令センターで搬送先を指定できるのか不安である。
- 共同指令センターや救急隊の現場でのトリアージの必要性について頭に入れておく必要がある。
- ドクターヘリは燃料が無ければ動けない。ドクターヘリの燃料確保については、優先度を上位にして検討していただきたい。

#### <救援物資関係>

- 発災時に物資の拠点となる民間営業倉庫が実際に使えるかどうか疑問がある。  
事務局：民間営業倉庫を補完するため、県有施設である幕張メッセと県総合スポーツセンターを予備の拠点に指定した。
- 輸送トラックの燃料確保についても今後の課題としていただきたい。

#### <ボランティア関係>

- 県災害ボランティアセンターの拠点となる県社会福祉センターが被災して機能しなくなった場合の代替施設について記載がない。  
事務局：この内容は、センターの在り方の問題であるため、地域防災計画の中で整理することとし、ここでは記載を省略した。
- 災害時に他県からボランティアに来てもらうためには、全国規模の訓練等に積極的に参加し、日頃から顔を合わせておく必要がある。  
事務局：県社会福祉協議会と相談しながら検討を進める。

#### <防災支援ネットワークの強化>

- 既存の施設をそのまま活用することが原則なのは承知しているが、施設の整備計画等はここでは書けないのか。  
事務局：今回指定した施設について、最低限の整備として貯水槽、簡易トイレ、進入路を今後の課題として検討する必要があると認識しているが、自衛隊、消防、警察が自己完結する部分も多分に期待しており、基本的には多額の費用をかけて整備する考えはない。
- 事務局：この基本計画では拠点となる施設を配置したところであるが、今後は、防災拠点の運営方法や、関係機関との調整方法等、人、物を円滑に動かすための具体的な手順等となる「(仮称) 受援計画」の策定を進めていきたい。